

# 一戸町商工会経営発達支援計画事業評価表

外部評価者による事業評価 (事業評価委員会)	項 目	評 価				総合評価	
	I. 経営発達支援計画事業の内容						B  B評価 (5人)
	1. 地域の経済動向調査に関する事	A	B (5人)	C	D		
	2. 経営状況の分析に関する事	A	B (1人)	C (4人)	D		
	3. 事業計画の策定支援に関する事	A	B (5人)	C	D		
	4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	A	B (5人)	C	D		
	5. 需要動向調査に関する事	A	B (5人)	C	D		
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	A	B (1人)	C (4人)	D		
	II. 地域経済の活性化に資する取り組み		A	B (3人)	C (2人)	D	
	III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み						
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	A (5人)	B	C	D			
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事	A (5人)	B	C	D			
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	A (5人)	B	C	D			

## 令和元年度事業全体のコメント

- ・小規模事業者持続化補助金の開始時期が2ヶ月遅れたほか、消費税対応でのキャッシュレス決済システム導入など、例年に比べ、業務量が多い中、限られたスタッフで効果的な事業の実施に向けて取り組まれたことが報告された。
- ・結果的にA評価に至らない部分は少なくないものの、小規模事業者持続化補助金8事業者、経営革新計画3事業者、事業承継計画10事業ほか、事業計画策定支援及び策定後のフォローアップに重点を置いた成果が見られており、それらの点に注目してB評価とした。
- ・予定していた事業の未実施が散見されたが、商工会に起因するものばかりではなく、総じて良く取り組んでいただいていると思います。
- ・関係機関との連携のもと町内の事業者が求める情報発信や支援を行いながら、地域経済の活性化等に資する取組についても新たな視点で実施するなど、評価できる。一方、創業志向者の少なさなどから目標に届かない指標が多くあり、目標達成のためには既存事業者が新規事業に挑戦することも含めたニーズの掘り起こしが必要と思われる。  
御所野遺跡の世界遺産登録に向け、引き続き町内事業者の成長につながる事業の推進につとめられたい。
- ・全体としてメリハリの利いた事業展開となっている。ただし、「1.地域の経済動向調査に関すること」のうち、「統計資料等については紹介する程度」として、「今後、各種レポートを収集分析する」としているが、①地域経済動向調査を実施していること、②金融機関等からの景況調査を併せて実施していることから、マクロ的な情報の収集分析に限られたマンパワーを投入することにより、現状の施策でもよいと考える。
- ・経営改善普及事業を中心として、全体的に事業の円滑な推進が出来ていると思われる。  
経営状況の分析に関しては、事業計画の策定支援に係り、実践的な経営分析を効果的に行っていると評価したい。

## 令和2年度に向けた改善点

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受ける事業者への対応、今後の地域経済の持続化や立て直しに向けて、現時点で先行きが見え難い状況の中、町役場や関係機関と連携を図り、地域の状況やそれぞれの事業者の実情を踏まえて支援を進めて頂くようお願いしたい。
- ・昨年度、C、D評価となった項目については、年度計画の中で、各部会等の活動とも関連付けた実施を工夫されたい。特に創業支援については、関係機関との情報交換や連携による効果的な支援を期待したい。
- ・空き店舗の活用により、住民の暮らしにも寄与すると思われるので、特に飲食業の起業などにつながるような取り組みを期待します。
- ・商談会等の開催においては、町内事業者が主体的に参加し、その販路や売上を拡大させられる取組となるよう努められたい。創業志向者等の掘り起こしのため、関係機関等との情報共有、情報交換等に引き続き取り組まれたい。
- ・「地域経済の活性化に資する取り組み」で御所野遺跡に注目した地域資源の活用及び地域ブランドの創出の取り組みを掲げているが、縄文文化に焦点を合わせて、いわゆる「縄文マニア」と呼ばれるコアな層をターゲットとして最初に取り組んでみてはどうか。
  - ※縄文マニア向けの「縄文 ZINE」というウェブサイトがある。
  - 「縄文 ZINE というフリーペーパーを作成し、縄文がめちゃくちゃ楽しいってことを世間にプレゼンし続けています。」とのことである。
- ・販路開拓支援については、県商工会連合会と専門家の紹介等の情報交換を通して連携し、目標達成出来るよう努めると良い。

## 今後に向けての対応

- 評価委員から指摘のあった事業について、見直しを図り、事業の改善を図る。
- 未実施の内容を含め、見直しを図りながら事業を実施していく。
- 職員の減少により、既存事業、受託事業等、事業の見直しによる事業の廃止や峻別、縮小をしていかなければ、計画の目標達成は、非常に難しいと考えるので、計画的な事業推進を図るよう取り組んでいく。